

5月 泉記念病院での鳥インフルエンザ対応訓練記録

原口義座による補足説明:現在補足中です。



5月 危機管理専門講座「新型インフルエンザ」(参考資料)

原口義座による補足説明:以降、参照して下さい。

危機管理 対策機構

CRISIS MANAGEMENT AND PREPAREDNESS ORGANIZATION

危機管理専門講座・ワークショップ・エクササイズのご案内

テーマ 個別事象「新型インフルエンザ」

- ◆日時: 2009年5月29日(金) 09:30~17:00
- ◆場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 102号室
- ◆共催: 特定非営利活動法人危機管理対策機構・危機管理教育・演習センター
- ◆内容: 第一部 09:30~11:45 専門講座 ……講師による講義
 - ・豚インフルエンザ~新型インフルエンザ~今日までの対応状況
 - ・次に想定すべきパターン及び弱毒・強毒性による整理
 - ・感染予防対策と事業継続計画とのすみ分けとポイント
 - ・新型インフルエンザ発生時・パンデミック時の事業継続の要点第二部 12:45~14:45 ワークショップ ……テーマごとに参加者による話し合い
 - ・今後、想定される状況
 - ・経営者として判断しなければならない項目の抽出とその選択肢
 - ・必要な情報、対応、資源第三部 15:00~17:00 エクササイズ ……状況設定ごとに体験型模擬訓練
 - 「もしも、会議中で疑い患者が発生したら」
 - 「パンデミック時の会議運営は」
- ◆参加制限: ・10日以内に海外渡航歴がないこと。
 - ・38度以上の熱がないこと
 - ・社内・家族等の接触者でそれらの該当者がいないこと
 - ・当日は、マスクを着用すること。※パンデミックを想定して会議のあり方も検証していきたいと思えます。
- ◆定員: 30名程度(200名の会場に対して限りなく社会的距離を確保した形で実施したいと思います)
- ◆費用: 各セッション1万円、3つすべて受講される方は2万円(先着順・事前申し込み制)
- ※当日までに、新型インフルエンザの国内発生等で混乱している場合は中止のご連絡を致します。

参加申し込み用紙

危機管理対策機構 行

Fax 03-3519-6255

ご参加頂く内容の「参加」に丸〇をつけていただき、下記事項にご記入の上、FAXにてお申し込み下さいませ。
参加証をお送りします。なお、費用につきましては請求書を発送しますので、当日迄にお振込をお願いします。

第一部 09:30~11:45 専門講座 ……講師による講義	参加
第二部 12:45~14:45 ワークショップ ……テーマごとに参加者による話し合い	参加
第三部 15:00~17:00 エクササイズ ……状況設定ごとに体験型模擬訓練	参加

御社名 _____

〒 _____
ご住所 _____

部署・役職 _____

参加者ご氏名 _____

TEL _____

FAX _____

特定非営利活動法人危機管理対策機構 担当: 細坪・平吾
〒105-0001 ● 東京都港区虎ノ門 1-1-21 ● 虎ノ門アルシュ
電話 : 03-3519-6270 ● FAX : 03-3519-6255



— 災害に立ち向かう企業づくり —

D-PAC2009 概要

■方針

- ・地域協力会との連携体制の構築
- ・帰宅困難者支援体制の構築
- ・駅滞留者対策の検討
- ・新型インフルエンザ対策の検討
- ・事業継続戦略の検討
- ・D-PAC 活動の幅広い広報活動

■トピック

- ・帰宅困難者支援・駅滞留者支援情報の共有のしくみの検討と地域協力会との連携
- ・駅滞留者対策の検討
- ・新型インフルエンザ対策
- ・事業継続計画(BCP)の検討

■日程

2009年5月～2010年3月(月1回程度)

■場所


千代田区役所会議室他

■対象

千代田区内の企業及びD-PACプロジェクトに賛同する企業、団体、行政機関、ボランティア、住民等
災害対策に積極的に取り組む企業

■スケジュール

月	日	内容
5月	20日	新型インフルエンザ(H1N1)に関する対応についての意見交換
6月	17日	新型インフルエンザ対応シミュレーション 新型インフルエンザを想定した図上訓練
7月	14日	帰宅支援情報共有(帰宅支援場所) 帰宅する際に必要な情報の収集と共有
8月	11日	事業継続対応シミュレーション 事業継続のための図上訓練
9月	9日	駅滞留者対応シミュレーション 駅滞留者対応のための図上訓練
10月	未定	事業継続戦略の検討(総務・管理系部門)
11月	未定	帰宅困難者支援・駅滞留者支援情報共有(インターネット上) インターネットを活用した帰宅する際・駅混乱時に必要な情報の収集と共有
12月	未定	社会貢献緊急対応(ER)チームトレーナー養成
1月	未定	千代田区帰宅困難者訓練 帰宅困難者支援・駅滞留者支援情報の共有と地域協力会との連携
2月	未定	事業継続戦略の検討(事業部部門)
3月	未定	新型インフルエンザを想定した図上訓練


D-PACプロジェクト
 Disaster ProActive Corporations PROJECT
 —災害に立ち向かう企業づくり—

D-PACプロジェクト2009
 2009年5月22日

特定非営利活動法人危機管理対策機構
 事務局 長 細坪信二

危機管理対策機構

内容

- ▶ D-PAC2009の概要説明・新型インフルエンザ専門講座・研究会等の説明
- ▶ ここまでの新型インフルエンザ対応に関する意見交換(それぞれの参加者による)
- ▶ BCP発動(緊急時体制)基準について
- ▶ 今後の準備・対応について


危機管理対策機構


会議

- ▶ 飛沫感染防止策
 - ▶ 社会的距離の確保(2m)
 - ▶ マスク
 - ▶ ゴーグル
 - ▶ 防護服
- ▶ 接触感染防止策
 - ▶ 手袋
 - ▶ 消毒液

危機管理対策機構

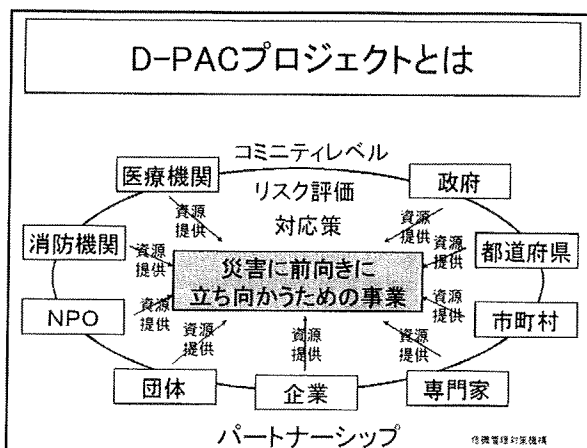
D-PACプロジェクトとは


 Disaster - ProActive Corporations
 ディザスタープロアクティブ コーポレーションズ
 (災害) - (立ち向かう) - (企業の集まり)


 Communities
 コミュニティズ
 (地域の人々)

▶ 「D-PACプロジェクト」は、行政任せ、経営者任せ、他人任せではなく、コミュニティに共存する企業の人々が互い知恵を出し、協力し合い、「来たときは来たとき」という受身の考え方ではなく、「来たときにどう対処するのか」「自らで考え」という前向きな考え方で災害に対して前向きかつ、積極的取り組み、災害に強い企業、コミュニティを目指していくプロジェクトです。

危機管理対策機構




D-PAC PROJECT


災害に立ち向かうコミュニティづくり
 帰宅・出勤困難者問題

何をしたらよいか? どこから手をつけたらよいか?



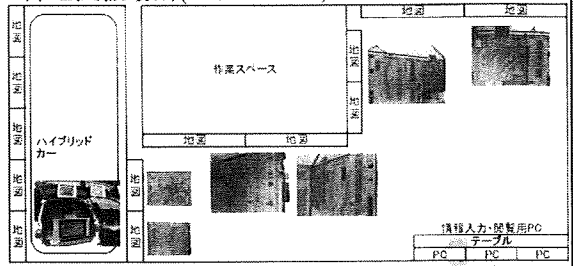
危機管理対策機構

ハイブリッドカーの100V電源を用いてデジタル機器(大画面、PC等)による情報共有



帰宅困難者に関する情報共有

帰宅支援場所(ステーション)のレイアウトルール



危機管理対策課

D-PACプロジェクト2009の方針

■方針

- ▶ 地域協力会との連携体制の構築
- ▶ 帰宅困難者支援体制の構築
- ▶ 駅滞留者対策の検討
- ▶ 新型インフルエンザ対策の検討
- ▶ 事業継続戦略の検討
- ▶ D-PAC活動の幅広い広報活動

危機管理対策課

D-PACプロジェクト2009のトピック

■トピック

- ▶ 帰宅困難者支援・駅滞留者支援情報の共有のしきみの検討と地域協力会との連携
- ▶ 駅滞留者対策の検討
- ▶ 新型インフルエンザ対策
- ▶ 事業継続計画(BCP)の検討

危機管理対策課

D-PACプロジェクト2009の概要

■日程

- ▶ 2009年5月～2010年3月
- ▶ 月1回程度

■場所

- ▶ 千代田区役所内会議室他

■対象

- ▶ 千代田区内の企業及びD-PACプロジェクトに賛同する企業、団体、行政機関、ボランティア、住民等
- ▶ 災害対策に積極的に取り組む企業

危機管理対策課

D-PACプロジェクト2009の予定

月	日	内容
5月	20日	新型インフルエンザ(H1N1)に関する対応についての意見交換
6月	17日	新型インフルエンザ対応シミュレーション 新型インフルエンザを想定した園上訓練
7月	14日	帰宅支援情報共有(帰宅支援場所) 帰宅する際に必要な情報の収集と共有
8月	11日	事業継続対応シミュレーション 事業継続のための園上訓練
9月	9日	駅滞留者対応シミュレーション 駅滞留者対応のための園上訓練
10月	未定	事業継続戦略の検討(総務・管理系部門)
11月	未定	帰宅困難者支援・駅滞留者支援情報共有(インターネット上) インターネットを活用した帰宅する際・駅混雑時に必要な情報の収集と共有
12月	未定	社会貢献緊急対応(EER)チームトレーニング
1月	未定	千代田区帰宅困難者訓練 帰宅困難者支援・駅滞留者支援情報の共有と地域協力会との連携
2月	未定	事業継続戦略の検討(事業部部門)
3月	未定	新型インフルエンザを想定した園上訓練

危機管理対策課

新型インフルエンザ専門講座

- ▶ 「第61回 危機管理専門講座」・「ワークショップ」・「エクササイズ(演習)」
- ▶ テーマ：個別事象「新型インフルエンザ」
- ▶ 内容
 - ▶ 第1部 09:30～11:45「専門講座」(講師による講義)
 - ▶ 第2部 12:45～14:45「ワークショップ」(テーマ毎に参加者による話し合い)
 - ▶ 第3部 15:00～17:00「エクササイズ(演習)」(設定された状況毎に体験型模擬訓練)
- ▶ トレーナー：細坪 信二ノ特定非営利活動法人 危機管理対策機構 理事・事務局長
- ▶ 日時：2009年5月29日(金)9:30～17:00
- ▶ 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟102号室
- ▶ 定員：30名程度(可能な限り「ソーシャル・ディスタンス(社会的距離)」を確保した形で実施する予定です)
- ▶ 参加費用：各セッション1万円 3つ全て受講される方は2万円障者割引あり

新型インフルエンザ専門講座

- ▶ 内容：第1部 09:30～11:45「専門講座」(講師による講義)
 - ▶ 豚インフルエンザ～新型インフルエンザ～今日までの対応状況
 - ▶ 次に想定するべきパターン及び弱毒・強毒性による整理
 - ▶ 感染予防対策と事業継続計画とのすみ分けとポイント
 - ▶ 新型インフルエンザ発生時・パンデミック時の事業継続の要点
- ▶ 第2部 12:45～14:45「ワークショップ」(テーマ毎に参加者による話し合い)
 - ▶ 今後、想定される状況
 - ▶ 経営者として判断しなければならない項目の抽出とその選択肢
 - ▶ 必要な情報、対応、資源
- ▶ 第3部 15:00～17:00「エクササイズ(演習)」(設定された状況毎に体験型模擬訓練)
 - ▶ 「もしも、会議中で疑い患者が発生したら」
 - ▶ 「パンデミック時の会議運営は」

新型インフルエンザ研究会

- ▶ 内容
 - ▶ 意見交換
 - ▶ ワークショップ
 - ▶ 訓練
- ▶ アウトプット
 - ▶ 新型インフルエンザ対応計画書の作成

意見交換

- ▶ ここまでの新型インフルエンザ対応に関する意見交換(それぞれの参加者による)

BCP発動(緊急時体制)基準について

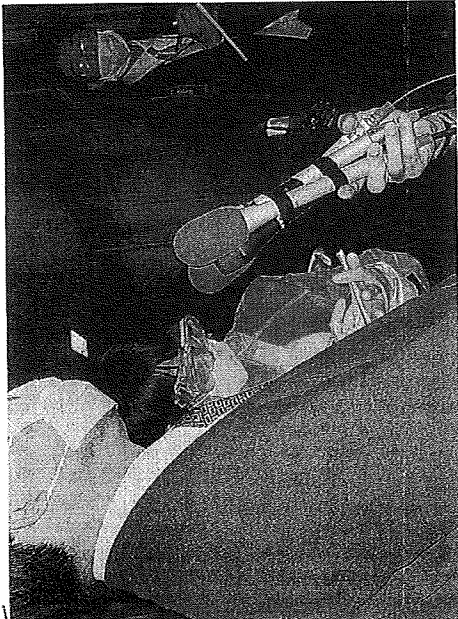
- ▶ トリガー
 - ▶ 首都圏で発症発生
 - ▶ 社内で発症発生
 - ▶ 社内でまん延
 - ▶ WHO警戒フェーズ「6」宣言
 - ▶ 政府自肅要請

今後の準備・対応について

- ▶ 準備
 - ▶ ルール **黄**
 - ▶ もの **水色**
- ▶ 対応
 - ▶ すること **Pink**
 - ▶ するために必要な情報 **Green**
 - ▶ ために必要な資源(人、もの) **赤色**

5月 新聞掲載記録から

新型イン



東に新型の新型インフルエンザが感染が確認され、患者の増加に懸念
 東京都立大の感染センターで、11月16日、神戸市東区

懸念される集団感染

恐れていた事態が現実となった。土曜日に初めて確認された新型インフルエンザの発生で、感染源は神戸市の高校生八人以上に上った。大塚の感染者九人も神戸に、いよいよ感染が広がる神戸の街は人通りが減少。それだけ神戸といふのも、知らぬ間に「水際」を突破した神戸、感染が広がる神戸に市民は一層不安を覚えた。

「水際」限界対応後手に神戸市

「いつかは起こる」と懸念されていた新型インフルエンザの感染が、四日米からを自身は不測の事態に襲ったが、神戸市立の感染センターで学校の対応に後手に回った。感染源を特定した「水際」には限界がある。感染が広がる神戸市に、市民は不安を覚えた。神戸市立の感染センターで、11月16日、神戸市東区

「予兆」見逃し 確定に3日間

神戸市などにも感染が広がった。神戸市立の感染センターで、11月16日、神戸市東区

2009年5月21日

国立病院機構災害医療センター一病棟・蘇生研究室長
 原口義座様

共同通信大阪社会部
 電話 06-6229-4444
 ファクス 6204-0088

取材の御礼

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日神戸市で発生した新型インフルエンザの国内発生に関して電話取材を申し込ませて頂きましたが、急な依頼にもかかわらず快く引き受けてくださり誠にありがとうございます。ありがとうございました。

記事を配信したところ、確認できただけで京都新聞、日本海新聞（鳥取県）、山陽新聞（岡山県）などで掲載されました。京都新聞のコピーを一緒に送付させて頂きまして、今後もお世話になることがあるかと思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。取材へのご協力、あらためて感謝申し上げます。

敬具

京南新聞 5月17日 神戸市社通

6月 船橋市新型インフルエンザ対応講演会記録

原口義座による補足説明：船橋市・鎌ヶ谷市看護管理者会 研修会での資料から

千葉県は、成田国際空港を有することから、積極的な対応がなされてきている。研修会での資料を転載させていただく。

感染管理認定看護師 後関義之先生、池崎陽子先生の両先生に御礼申し上げます。

当院における 新型インフルエンザ対応

2009.6.24

感染管理認定看護師 後関義之

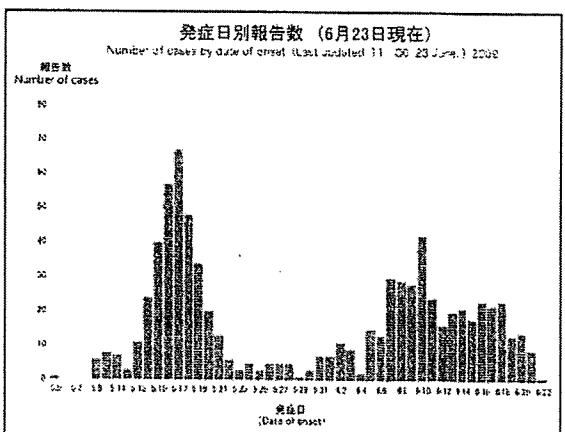
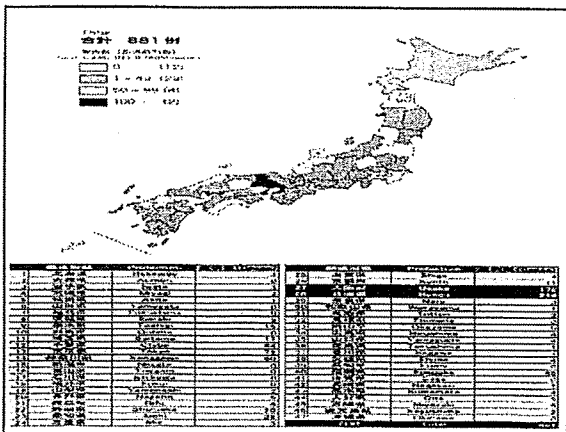
新型インフルエンザ発生

- 4月28日 WHO フェーズ4発表
- 4月29日 厚生労働省 新型インフルエンザと定義
- 4月30日 WHO フェーズ5発表
- 5月 8日 成田空港検疫にて3人の確定患者発生
- 5月16日 国内患者発生
- 5月30日 千葉県内患者発生
- 6月 8日 船橋市内患者発生(11日より自宅待機)
- 6月11日 WHO フェーズ6発表
- 6月19日 新型インフルエンザ運用指針改定
- 6月24日 船橋市夜間休日急病診療所発熱外来終了

WHOによる新型インフルエンザ警戒レベル (フェーズ)と国内の対応

フェーズ	WHOによる警戒レベル	国内の対応
フェーズ1	動物から人に感染する危険性の低いウイルスを検出	首相と全閣僚による対策本部を設置
フェーズ2	動物から人に感染する危険性の高いウイルスを検出	渡航延期を勧告、海外滞在員らの帰国を企業に要請
フェーズ3 [現在]	人に感染する新しいウイルスを検出。人から人への感染は限定的	定期便が運航停止された場合、政府が用務など在外邦人の帰国手帳を確保
フェーズ4	人から人に新しいウイルスの感染が早く、感染集団は小さい	発生地からの到着便を成田など4空港に、船舶の到着港を横浜などを港に限定し、検査を強化
フェーズ5	大きな集団で感染	感染したおそれのある入国者にホテルなどに最長10日間停留してもらう、検疫を厳げる
フェーズ6	世界的大流行 (パンデミック)	ウイルスを入手し次発、ワクチン製造に着手

発症日	発症数	発症率	累計発症数
4/28	3	0.0003	3
4/29	3	0.0003	6
4/30	3	0.0003	9
5/1	0	0.0000	9
5/2	0	0.0000	9
5/3	0	0.0000	9
5/4	0	0.0000	9
5/5	0	0.0000	9
5/6	0	0.0000	9
5/7	0	0.0000	9
5/8	3	0.0003	12
5/9	0	0.0000	12
5/10	0	0.0000	12
5/11	0	0.0000	12
5/12	0	0.0000	12
5/13	0	0.0000	12
5/14	0	0.0000	12
5/15	0	0.0000	12
5/16	1	0.0001	13
5/17	1	0.0001	14
5/18	1	0.0001	15
5/19	1	0.0001	16
5/20	1	0.0001	17
5/21	1	0.0001	18
5/22	1	0.0001	19
5/23	1	0.0001	20
5/24	1	0.0001	21
5/25	1	0.0001	22
5/26	1	0.0001	23
5/27	1	0.0001	24
5/28	1	0.0001	25
5/29	1	0.0001	26
5/30	1	0.0001	27
5/31	1	0.0001	28
6/1	1	0.0001	29
6/2	1	0.0001	30
6/3	1	0.0001	31
6/4	1	0.0001	32
6/5	1	0.0001	33
6/6	1	0.0001	34
6/7	1	0.0001	35
6/8	1	0.0001	36
6/9	1	0.0001	37
6/10	1	0.0001	38
6/11	1	0.0001	39
6/12	1	0.0001	40
6/13	1	0.0001	41
6/14	1	0.0001	42
6/15	1	0.0001	43
6/16	1	0.0001	44
6/17	1	0.0001	45
6/18	1	0.0001	46
6/19	1	0.0001	47
6/20	1	0.0001	48
6/21	1	0.0001	49
6/22	1	0.0001	50
6/23	1	0.0001	51
6/24	1	0.0001	52
6/25	1	0.0001	53
6/26	1	0.0001	54
6/27	1	0.0001	55
6/28	1	0.0001	56
6/29	1	0.0001	57
6/30	1	0.0001	58
7/1	1	0.0001	59
7/2	1	0.0001	60
7/3	1	0.0001	61
7/4	1	0.0001	62
7/5	1	0.0001	63
7/6	1	0.0001	64
7/7	1	0.0001	65
7/8	1	0.0001	66
7/9	1	0.0001	67
7/10	1	0.0001	68
7/11	1	0.0001	69
7/12	1	0.0001	70
7/13	1	0.0001	71
7/14	1	0.0001	72
7/15	1	0.0001	73
7/16	1	0.0001	74
7/17	1	0.0001	75
7/18	1	0.0001	76
7/19	1	0.0001	77
7/20	1	0.0001	78
7/21	1	0.0001	79
7/22	1	0.0001	80
7/23	1	0.0001	81
7/24	1	0.0001	82
7/25	1	0.0001	83
7/26	1	0.0001	84
7/27	1	0.0001	85
7/28	1	0.0001	86
7/29	1	0.0001	87
7/30	1	0.0001	88
7/31	1	0.0001	89
8/1	1	0.0001	90
8/2	1	0.0001	91
8/3	1	0.0001	92
8/4	1	0.0001	93
8/5	1	0.0001	94
8/6	1	0.0001	95
8/7	1	0.0001	96
8/8	1	0.0001	97
8/9	1	0.0001	98
8/10	1	0.0001	99
8/11	1	0.0001	100
8/12	1	0.0001	101
8/13	1	0.0001	102
8/14	1	0.0001	103
8/15	1	0.0001	104
8/16	1	0.0001	105
8/17	1	0.0001	106
8/18	1	0.0001	107
8/19	1	0.0001	108
8/20	1	0.0001	109
8/21	1	0.0001	110
8/22	1	0.0001	111
8/23	1	0.0001	112
8/24	1	0.0001	113
8/25	1	0.0001	114
8/26	1	0.0001	115
8/27	1	0.0001	116
8/28	1	0.0001	117
8/29	1	0.0001	118
8/30	1	0.0001	119
8/31	1	0.0001	120



厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部により確認されたもの
(2009年6月23日11時現在)

国内発生例	881
検疫対象での発生	11
合計	892

当院の発熱外来

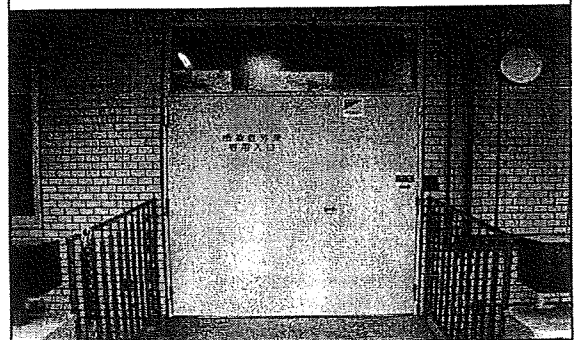
(5月4日から6月22日)

診察回数	96
受診人数	66
入院患者数	6(陰性者1名)

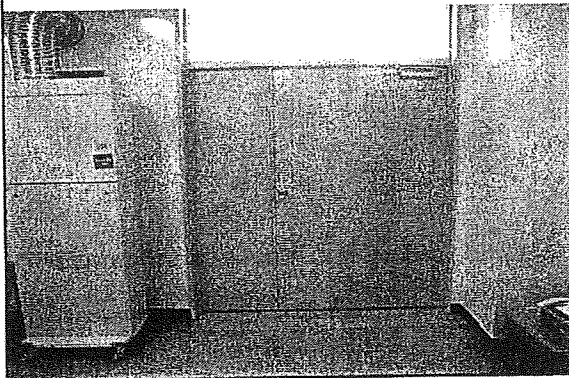
当院の備蓄状況(4月末現在)

品目	備蓄必要量	現状
マスク(サージカルマスク)	60000	6000
N95マスク	900	900
タイベック	100	15
青ガウン	900	900
シールド(フルフェイス)マスク	100	100
手袋	9000	2000
タミフル備蓄	3000	3000

感染症外来入り口



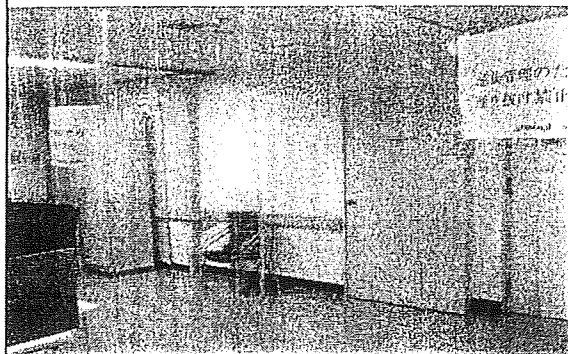
感染症外来(陰圧装置)



感染症外来におけるPPE



感染症病棟1



感染症病棟2




新型インフルエンザの対応 での問題・課題

感染症外来及び発熱外来体制
入院病棟およびその他病棟の体制
医師・看護師等の人員確保
行政(保健所)との対応
医療物品・薬品・ワクチン等の確保
妊産婦の受け入れ体制
秋の第2波に向けての対応検討

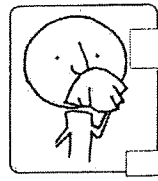
ご清聴ありがとうございます
ございます

抜粋

船橋市・鎌ヶ谷市看護管理者会 2009/6/24




新型インフルエンザへの対応



船橋市立医療センター
感染管理認定看護師
池崎 陽子

2009/6/24

インフルエンザってなに？

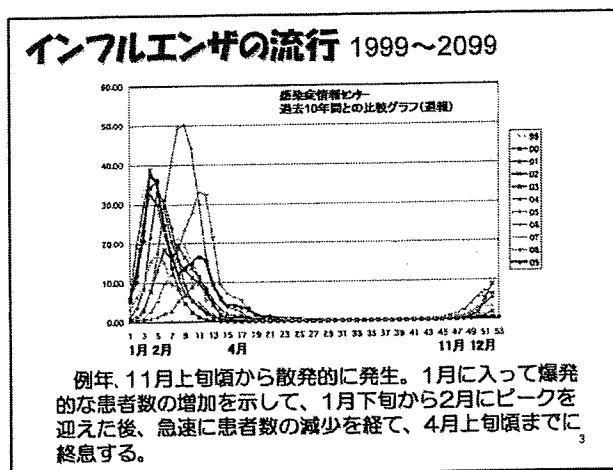


- インフルエンザウイルスによる急性感染症
- 流行性感冒、2008年頃からインフルという略称がメディアによって使用されはじめた。

語源：イタリア語「影響を意味するinfluenza(英influence)

16世紀イタリアでは冬季になると発生し、春に終息を迎える病気を天体の運行や寒気などの影響によって発生するものと考え、18世紀にイギリスで使用されるようになった。イタリア語での読みは「インフルエンツァ」日本では幕末にインフルエンザの名称が蘭学者によって流行性感冒と訳された。

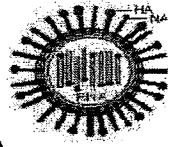
2



インフルエンザウイルスの特性


インフルエンザ抗原とは

- インフルエンザウイルスは膜の表面に赤血球凝集素(Hemagglutinin)とノイラミニダーゼ(Neuraminidase)の2種類の突起を有しており、この2種類の突起はH、N、と略されている。
- 核蛋白複合体の抗原性の違いから、A型、B型、C型に分類される。



4

インフルエンザ抗原の変異




- インフルエンザウイルスのHA(赤血球凝集素)とNA(ノイラミニダーゼ)は、同じ亜型の中でもわずかな変化(連続変異)が常に見られる。

マイナーチェンジ

- このため、ヒトによっては毎年のようにA型インフルエンザに感染することも起こるし、インフルエンザの流行も毎年起きている。

5

インフルエンザ抗原の変異



- 変異の幅が大きいほど宿主免疫の効果は低くなり、感染して発症した時の症状も強くなる。
- 時にA型は、突然まったく別の亜型に取って代わることがある。これを不連続抗原変異(antigenic shift)または大変異という。

フルモテルチェンジ

新型インフルエンザの発生

6

以下略

抜粋

7月 ICS Japan Section 市民公開講座 開催 新型インフルエンザ机上訓練:記録動画・DVD 作成、和英併用

原口義座による補足説明:The International College of Surgeons,
the 55th Annual Congress of the Japan Sectionにおいて、インフルエンザ
パンデミックにおける病院対応を市民公開講座として施行した。

その際の動画による記録を提示する。

添付したDVDを参照してください。

又、会長発表の画像のうちの感染症の部分を中心に抜粋したものを提示
する。

抜粋

The International
College of Surgeons

**The 55th Annual Congress of
the Japan Section**

July 4, 2009

Tokyo Medical University Hospital, Tokyo, Japan

PROCEEDINGS



Congress President
Yoshikura Haraguchi
Chief of Surgical Department,
National Hospital Organization Disaster Medical Center

第55回国際外科学会日本部会総会事務局
〒190-0014 東京都立川市緑町 3256
Tel 042-548-1287 / 042-526-5511
(ex3174, 2303)
FAX 042-526-5540
E-mail: akisato@titan.ocn.ne.jp
akisato@msf.biglobe.ne.jp

平成 21 年 6 月 吉日



第55回国際外科学会
会長 原 明子
(国立病院機構都立豊田医療センター)

関係各位

第55回国際外科学会日本部会総会

抄録集ご送付の御案内

謹啓

向學の候、先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

遅くなりましたが、第55回国際外科学会日本部会総会のプログラム・抄録集が出来上がりましたのでお送り申し上げます。直しくご査収ください。

経済不況、インフルエンザパンデミック、(衆議院の解散直前状態?) など、世情は落ち着かない現況ですが、第55回国際外科学会日本部会を7月4日(土)に東京医科大学病院、新宿、にて開催させていただきます。

プログラム・抄録集をご覧になられるとすぐにおわかりかと思いますが、今回、今まで以上に幅広い多分野からのご発表をいただくこととなりました。

前日には、委員会・意見交換会/懇親会を開かせていただき、学会当日には、特別講演、一般の口演、ポスター発表をしていただきます。

更には、公式には、学会プログラム終了後とさせていただきますが、夕方からインフルエンザパンデミック対応を想定した訓練をエキジビション・市民公開講座を兼ねて、極短時間ですが、開催したいと準備しております。おそらく、本プログラムの抄録集がお手元につくころには、WHOは、フェーズ6を宣言していることには思いますが、今回のH1N1のインフルエンザは、弱毒であることから、これ以上の大きな社会的混乱は起きないか、起きてそれほどの社会的脅威にはならないと思います。

しかし、南半球、そして一旦は落ち着いても秋を迎える頃には、再度注目せざるを得ないであろうこと、そしてもっと危険すべきは、H5N1の鳥インフルエンザ由来の強毒性の新型インフルエンザの発生もありうるであろうということですので。

それらを考えますと、外科系診療にたずさわる上で、感染への対応に習熟してきている外科系の医師・医療従事者は、好む、好まざるにかかわらず率先して関わる必要があると考えています。

ぜひ、前日の懇親会(無料)での意見交換から、そして、インフルエンザ対応訓練(日本語、英語併用のつもりです)にもご参加いただき、ご意見、ご指導をいただけたらとありがたく存じます。これまでの私たちの研究班(厚生労働科学研究班)での訓練の動画等の記録も、当方で複写できる範囲ですが、ご配布できるかと思っております。

梅雨、そして蒸し暑い夏となりますが、実り多い学会となりますよう祈念し、皆様のお越しをお待ち申し上げます。

今後ともよろしくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、先生方のますますのご健勝とご発展をお祈りし、ごあいさつを申しあげます。

謹白

The International College of Surgeons
The 55th Annual Congress of the Japan Section

Opening Remarks

Dear Colleagues,

Yoshikura Haraguchi (Congress President)

It is a great honor for us to hold the 55th Annual Congress of ICS Japan Section at Tokyo Medical University Hospital, on Saturday, July 4, 2009.

We sincerely welcome you to the congress.

The scientific program of the 55th Annual Congress includes all fields of surgery, surgical research, operative techniques and diagnostic procedures as well as surgery related various conditions, including infectious diseases.

The "Young Investigation Awards" will be presented to excellent papers. They shall be recognized at Japan Hall of Fame in the International Museum of Surgical Science in Chicago.

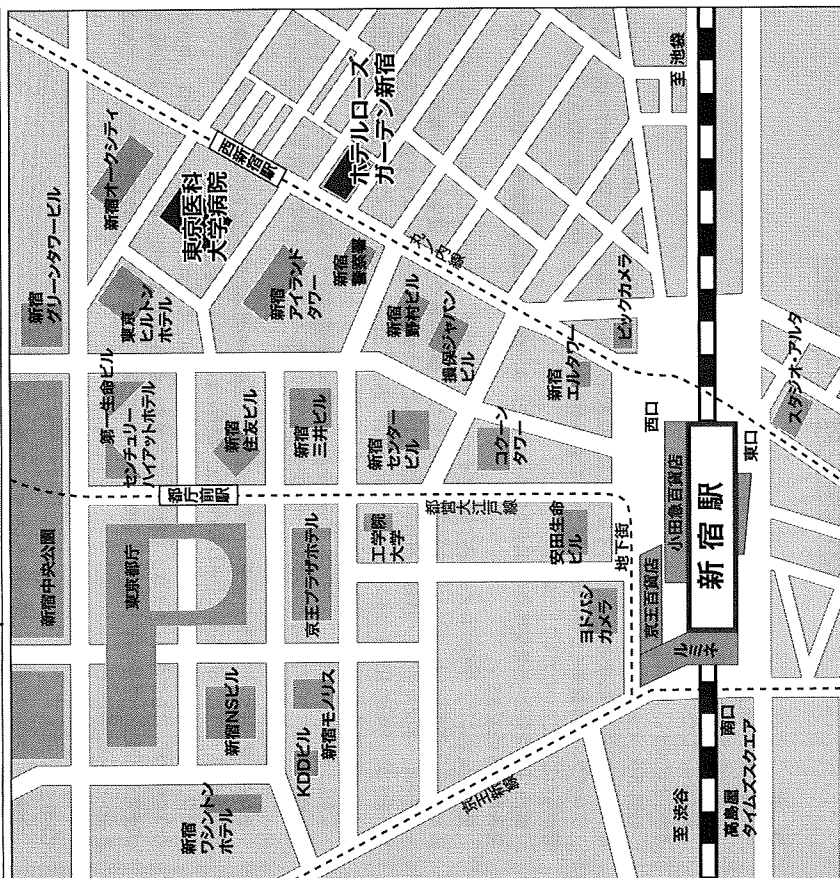
Meanwhile, there are many serious problems left in the field of medicine, such as medical breakdown, the medical system, medical errors and accidents, medical costs, ethical aspects in medicine, flu pandemic, etc.

After the main meeting, a short medical drill for response to flu pandemic is also planned. Considering the risk of the coming pandemics, this drill will be beneficial to all participants.

Program

English Commentator: J. Patric Baron		English Commentator: Raoul Breugelmanns			
Room A (Auditorium and Hall, 6th floor)		Room B (Cafe-terrace, 6th floor)			
Time	Title	Chairperson	Time	Title	Chairperson
8:00	registration		8:00-8:30	Poster Mounting	
8:30-8:35	Opening Remarks				
8:35-9:15	Address by the congress president Haraguchi Y	Sunagawa M			
9:15-10:00	Esophagus and Stomach	Miyashita M			
10:00-10:30	Special Lecture 1 Nishiyama M	Haraguchi Y		Poster Display	
10:30-11:15	Hepatobiliary Lesion	Kodera Y Yamazaki M			
11:15-11:45	Special Lecture 2 Kubota K	Shigyo T			
11:45-12:00	Day surgery	Shigyo T			
12:10-13:10	Lunch break		12:10-13:10	Lunch break	
13:10-13:30	General Assembly				
13:30-14:00	Education Lecture Hoshino M	Aoki T	13:30-14:18	Poster Presentation 1 Intestine and Stomach	Takeshita K Ohtsubo T
14:00-14:30	Gynecology, Obstetrics	Ochiai K	14:18-14:50	Poster Presentation 2 Liver and Pancreas	Kochi M Itoh Y
14:30-15:45	Mouth, Face and Neck	Sekine J Ishibashi H	14:52-15:16	Poster Presentation 3 Cardiac Surgery and Medical Device, ME	Haraguchi Y Hoshino M
15:45-16:00	Miscellaneous	Haraguchi Y	15:16-15:54	Poster Presentation 4 Orthopedics, Disaster Medicine, Miscellaneous	Hoshino M Tomoyasu Y
16:00-16:10	General Summarization Takasaki K				
16:10-16:15	Closing Remarks				
16:15-18:00	Drill: Flu Pandemic-A public lecture - 18:00		16:15	Poster removal	

Venue Guide Map [2]



ホテルロスガーデン新宿へのアクセス

- 電車でご来館されるお客様
東京メトロ丸の内線「西新宿」駅前、1番出口で地上に出ていただく左手側に「ホテルロスガーデン新宿（ページュの建物）」がご覧になります。
また、「R線、小田高線、京王線」をご利用の場合は、「新宿」駅（西口）より、徒歩10分となります。
- 空路より来館されるお客様
成田空港・羽田空港からは、「ヒルトン東京」行きのリムジンバスをご利用ください。「ヒルトン東京」から、青梅街道に向かっているとき、突き当たると右正面に「ホテルロスガーデン新宿（ページュの建物）」がご覧になります。
- お車でご来館されるお客様
お車でご来館される場合、府中・八王子方面から中央高速（新宿ランプ）又は、都心から首都高速4号線（新宿ランプ）が便利です。新宿ランプを降りていただき、直進しますと約1キロ程で青梅街道に突き当たります。
その信号を右折していただき、1個目の信号を過ぎた左側に「ホテルロスガーデン新宿（ページュの建物）」がご覧になります。